

専門的かつ多角的なアドバイスで岡山の吹奏楽の発展につなげる

日本ウインドアンサンブル《桃太郎バンド》

活動の目的

作曲家・鈴木英史による解説と指揮者・小林恵子によるアドバイスの下、桃太郎バンドの奏者からのレクチャー及び一緒に演奏を行うことでアマチュアや学生の吹奏楽愛好家との交流を図る本企画。開催ごとに好評を得て、今回が3回目の開催となる。全日本吹奏楽コンクール岡山県・中国支部・全国大会の会場として使用されている倉敷市民会館のステージで参加団体ごとに演奏を行い、奏者の配置によるサウンドの違いや演奏のバランスの取り方など様々なパターンでの実演を通して、一方的にレクチャーを行うだけの講習ではなく、体感してもらいながら各団体に適したアドバイスを行う。参加者と一緒にステージで演奏することを通して音楽の根本である「楽しむ」を感じてもらい、生涯にわたり「音楽を愛好する心」を育み、子供たちに夢や希望を持ってもらうことがねらいの一つである。

活動の内容及び経過

ミッドオカヤマ2017を6月3日～4日、倉敷市民会館において開催。参加団体6団体、総勢220名。

今回の事業はスクールバンドを対象に行った吹奏楽の講習会で、岡山県を中心として中学校3団体、高等学校2団体、大学1団体が参加。講習の内容としては全体での合奏講習会、楽器別講習会、そして指揮者に向けての指揮講習会、全日本吹奏楽コンクール課題曲のアナリーゼ講座、指揮のバトンテクニック講座など多岐に渡る内容で開催。いずれの団体も熱意を持って本講習会に臨まれており、当団団員の指導・助言により演奏技術が大きく向上していった。後日、参加した団体の代表者の方から「生徒たちの演奏へ向かう姿勢が変わった」というお言葉をいただいた。地域の団体と積極的に交流し、音楽への興味・意識をより深めていただく支援をすることは当団の活動の目的でもあり、参加団体から意欲向上のお言葉をいただけることが今度の活動への励みとなっている。

活動の成果・効果

本事業に参加された各団体から、「非常に勉強になった」「また来年も参加したい」といった好感触な意見を多くいただけたことから、演奏技術向上や音楽への意識を深めていただく支援が出来たと感じている。今回参加したいずれの団体も7月下旬～8月上旬に開催される全日本吹奏楽コンクールに向けての練習の中で「桃太郎バンドの奏者はこんな風に演奏していた」「ミッドオカヤマでいただいた適切な助言が今の演奏活動に繋がっている」というように、事後の演奏活動の中でも成果を発揮しているようで、主催者・



参加者ともに実りのある事業が展開できたと感じている。

今後の課題と問題点

本事業に参加された団体からは極めて好意的なご意見をいただいているので、事業内容についてはおおむね良好であると思われるが、中学・高校の吹奏楽部が主たる参加団体であることから、参加しやすさを考慮すると受講料を極力抑えねばならないため、収益面が課題である。本事業への参加団体増を見込める時期、企画の精査など再考の必要があると思われる。

当団は20代の若手奏者を中心に組織した団体で、結成から5年目を迎える。本事業のみならず、恒常的・継続的な活動の環境づくりも課題の一つであり、地域との関わりを大切にするという創団以来のポリシーを基に、ますます多様化したニーズに応えられる活動を展開していく。

- 代表者：鈴木英史 ●所在地：都窪郡早島町早島
- TEL：090-2371-9931 ●E-MAIL：m.h.eu.124@gmail.com
- URL：http://momotaroband.net/
- 設立年：2013年 ●メンバー数：43名